

## 平成26年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
東吉野村	東吉野村立東吉野小学校

## 1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

学校教育目標の達成に向けて、特色ある教育活動の展開をする中で、地域の自然や文化等を生かす地域教材の活用と体験活動を重視すること。家庭・地域から信頼される学校づくりを進めていく中で、地域の人材との積極的な交流や支援を進めること。

その中で、地域との結びつきを深める、学習活動を深める、家庭との協働を深めるという3つの連携を推進していく。

## 2 特徴的な取組の概要

## (1) 3年生「ひしもち」づくり

日本古来の伝統行事の一つ「ひしもち」について、東吉野村の伝統的なひしもちを学ぶ活動を行った。本村では、「緑のひしもち2段の上に白い丸餅を重ねる」のが伝統的である。地域の高齢者の方を講師として招聘し、ひしもちづくりに取り組んだ。緑のひしもちの材料となる「よもぎ」は、児童が春に摘んできたものを冷凍保存していたものを使用した。できあがったひしもちは、授業参観の際に保護者にふるまった。



白餅を丸める



緑餅を延ばす



東吉野のひしもち

## (2) 6年生「天誅組 ～村の人々が150年間受け継いできたものは～」

150年間にわたって受け継がれてきた村民と天誅組のつながりについて探究する活動を通して、天誅組志士の命をかけて果たそうとした志と、志士を大切に供養してきた村民のやさしさに気づき、目標をもって生きることや他人や地域との関わり方について自分の考えを深める学習。実際に史跡・遺跡巡りをした後、天誅組顕彰会の方にインタビュー活動を行い、収集した情報を整理・分析して自分の考えをもたせた。



墓に供花されてる方



顕彰会の方にインタビュー



情報の整理・分析